

Keynote でタッチ式O×クイズ

教科・場面

生活

授業・実践のねらい

- iPad を操作するために手を動かそうとしたり、みんなの前で発表しようとするなど、児童が主体的に活動に参加する機会を設定できる。
- 授業の習熟度の確認に使用できる。
- 触れたことで画面が反応する因果関係に気付く。

対象の児童・生徒

- 小学部高学年8名（学年団）
- 質問に対し、それぞれが視線・手指・声などで意思表示をする。
- 二者択一で選ぶことを理解している児童もいるが不確実な児童もいる。

教材・教具

- iPad (keynote) を使用
- タッチペン
- 素材となる写真を数枚保存しておく

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

授業の展開

- 「せいかつ」のクリスマス会を扱う単元で使用。
- 授業初回は『クリスマス』『サンタクロース』『クリスマス会』についての説明を行い、2回目の授業から前回の復習として説明の中で出てきたことについてO×クイズを行った。



- appleTV でつなぎ、児童の席までいって手で操作できるようにした。

工夫したところ

- iPad に触れると、効果音と大きくOorXが出るようにした。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- 児童の好きなケーキやクリスマスツリー、サンタクロースなどをクイズに使用したことで、画面に注目したり意欲的に授業に参加したりできていた。
- O×や効果音が出ることを楽しむ様子も見られた。
- 1～3程度の数字を理解している児童は、真剣に画面を見入ったり、他の児童がiPadにタッチしている様子を注視したりしている児童もいた。
- 簡単な二者択一しか聞かれたことがない児童は、問いかけられると3問ともに視線を少し上に向け軽く左右に揺らすようにして、思い出すような悩んでいるような仕草を初めて見せた。